

1年生 〈生活科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・ほとんどの児童が活動や観察を通して、感じたことや考えたことを絵や文章で表現しようとしていた。
- ・自然の中で遊んだ経験については、個人差が大きい。児童も、生活科の学習や校外学習などで季節の変化を感じ取っている。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・夏遊びの活動では、多くの児童が約束を守り、他クラスの友達とも仲良く関わろうとしていた。
- ・気持ちのよい挨拶や言葉遣い、学校生活・遊びのルールやマナーを守るなど、正しい行動をしている友達の姿を見ながら、生活上必要な習慣を身に付けてきている。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・先生、友達、上級生など学校の人々に、強い関心をもつ児童が多い。
- ・アサガオの水やりを欠かさずに続け、成長にともない変化していく様子を楽しみにしながら、親しみをもって世話をする姿が見られた。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・植物や生き物を詳しく観察する力やそれを表現する力を付けていくこと。
- ・人や社会及び自分自身に関わる学習活動の展開に即して、どのように取り組んでいけばいいのか児童一人一人に考えさせ、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせること。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・「自然を大切にしよう」「自分たちの遊びや生活を工夫しよう」など、体験したことから自分自身や生活に役立てるようにすること。
- ・身近な人々や自然に関する気付きをもつこと、それらを通して自分自身の成長に気付いたり自分の可能性に気付いたりし、生活することへの意欲や自信をもたせること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身近な人々や自然・社会とのかかわりに関心をもたせ、主体的に活動できるようにすること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・児童の実態に即した活動を実現し、学習対象にじっくり関わるができるようにする。
- ・試行錯誤を繰り返す活動を設定し、活動の時間を確保することで、注意深く観察したり、考えたり、意見を交流したりすることができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・多くの手順を必要としたり、一つ一つの指示がなければできないような活動をしたりを避け、主体的な活動、思考、表現ができるようにする。
- ・表現させる際、これまでの体験とつなげた表現や感覚を生かせるように、働きかけや言葉かけを工夫する。
- ・体験したことからの気付きを伝え合う場を設定し、お互いの気付きを知ることで、個々の気付きの質を高めていくようにする。
- ・昔遊びなど、友達と競い合い、教え合い、助け合い、かかわり合いながら進める活動を取り入れる。
- ・一人一人の思いや願いが生かせるよう、児童が感じたことを取り上げながら授業を展開する。
- ・活動したことや体験したことを絵や文章(言葉)で振り返らせ、気付きを明確にさせる。
- ・児童の気付きを大切にして、個々の気付きを全体で交流することで、活動を深めたり、広げたりする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身近な人々と関わる活動を通して、親しみや知的好奇心・探求心を覚え、驚いたり喜んだりできる活動を繰り返し取り入れる。
- ・草花や樹木、生き物と直接触れ合い、身近な自然に目を向ける活動を取り入れる。

2年生 〈生活科〉

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・観察などの学習を通して様々なことに気付き、発言などの交流や発見が活発に行われている。
- ・野菜作りでは、生長を楽しみ、収穫を喜びながら観察をすることができた。
- ・1年生への学校案内では、上級生として1年生に優しく接することを通して、自分の成長に気付いた。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・野菜の観察の学習では、気付いたことや自分なりに考察したことを、カードにまとめることができた。
- ・公園探検では、公園で見付けた公園の「すてき」を、オクリンクプラスにまとめた。工夫して友達に発表できた。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・野菜作りを通し、興味関心をもって植物の生長の変化に気付けた。また、タブレット端末で写真を撮り、オクリンクプラスに記録し、収穫した野菜を使って、家庭で料理をする等の実践をした。
- ・自分の町に関心をもち、安全に気を付け、友達と協力して探検したり調べたりした。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・自分と身近な人々、社会や自然との関わりに興味をもてるように関心・意欲を継続させること。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・体験を通して気付いたことを分かりやすくオクリンクプラスや絵、文で表現したり、友達の気付きを聞いて自分の気付きを深めたりできるようにすること。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・積極的に活動し、気付きの質と量を向上させること。
- ・学校図書館の図書資料やインターネットを活用して、調べ学習を発展させること。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・探検や野菜の観察などの体験学習を多く設定し、自分の気付きや関わりを大切にする。
また、調べ学習の機会を多くし、学校図書館やタブレット端末の活用を増やす。
- ・授業の中で小グループの話し合いを取り入れる。友だちと交流する場を多くもち、児童の興味、関心、意欲を高められるようにする。
- ・発表会等の学習の目的を設定し、意欲を高めさせる。また、達成感・成就感を得られるようにする。

〈思考力、判断力、表現力〉

- ・具体的な活動や体験について考えたり、工夫したり、調べたりして、表現できるようにする。まとめでは「もっと活動を、楽しくするために…」 「もっと知りたい」 など、一人一人が思いや願いを抽出し、次の単元へさらに意欲をもって取り組めるようにする。
- ・自分の考えをもてるように、さまざまな経験や体験を学習カードにまとめ、振り返る時間を確保する。
- ・話し合いや発表会等、交流することで友達の考えのよいところに気付くようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・授業では、活動の過程を大切にし、絵や振り返りだけではなく、つぶやきや発言、思いを見取っていく。さらにつぶやきや発言、思いを意図的に取り上げることによって、互いの考えや気付きのよさに自ら気付いていけるようにする。
- ・公園探検で行った学習を基に、町探検では町の「すてき」に目を向けさせ、町の人や様々な場所に親しみをもって関わったり、交流を深めたりできるようにする。
- ・「楽しかったよ2年生」では、自分の成長を支えてくれた人々から話を聞くなどの交流を通して、自分が小さかった頃を見つめ、将来への具体的な思いや願いをもてるように指導していく。また、これからの生活に意欲がもてるように、家庭とも連携した準備計画を行う。

